

2月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



2/1 2月22日はボーイスカウトの創始者ベーデン＝パウエル(B=P)の誕生日。各地でB=P祭という名前でイベントが催されたり、B=Pのことを考えたりする機会として捉えられています。少し早いですが、B=Pのお話を知ろうと、ボーイスカウトの始まりについてのビデオを見ました。集会でビデオ(テレビ)を見るなんてまずないので、食い入るように見ていました。ボーイスカウトを作ったおじさんの名前はまだ覚え切れてないようですが、その人の誕生日が2月22日ということは覚えられたようでした。



2/15 いろいろ外に出てそれぞれが好きなものを集めてきました。それをまずは1人1人後ろ向きで手で触ってみて「なんだろう?」と当ててみました。次にグループに分かれてあてっこ。手に取ると崩れてしまいそうなものもありましたが、それぞれちゃんとわかって解答できました。答えを見つけることよりもしゃべらない、目で見ようしない、というルールを守る方が難しいビーバースカウトたちでした。

カブ(CS)隊



2/1 今月のテーマは「サイクリングに行こう」です。まずは、自転車の仕組みを知ることから始めました。中野坂上にある自転車屋さんを訪問し、自転車の仕組みを教えてもらい、パンク修理の方法を実演してもらいました。ちょっと大人向けの話が多く難しかったけれど、一所懸命聞いていました。

自転車屋さんから戻った後は、1月のスキーのビデオを見ました。降りしきる雪と霧の中での撮影でしたので、誰が映っているかはっきりしません。自分を見つけるのも一苦労。頭の中でのイメージと実際に滑っている姿との差はどのくらいあったのでしょうか。

2/15 2回目の集会では、自分の自転車を整備しました。サドルの曲りや高さの調整をして、泥汚れやサビを落としました。わざとハンドルの曲がった自転車や高さの合っていない自転車にも乗ってみて、自分の体にあった正しく整備された自転車がどれだけ乗りやすいかを体感しました。それから、サイクリングの目的地を決める相談をしました。地図の中から、自分の家・集会場所を探し、自転車で行ったことのある場所を話し合い、どのくらい遠くまで行かれるかを考えました。自転車で中野区から出たことが無いスカウトもいて、最初の話し合いでは、30分も走らずに目的地に到着してしまいそうな計画になりました。



ボーイ(BS)隊



2/1 ハイキングで使う地図の使い方について勉強しました。観光で使うような地図とは違い、地図記号や地形を覚える必要があります。四苦八苦しながらも地図への理解を深めていました。また、次回行うB=Pについての発表に向けてのテーマ決めも行いました。

2/11 ふれあいの集い奉仕が要請され、4名のスカウトが参加しました。なかのZERO大ホールで行われた、中野区が主催する障がい者との交流行事です。スカウト精神を発揮し、会場案内や誘導など随所で活躍しました。

2/15 B=P祭の時期にちなみ、B=Pについて調べて発表しました。全体的にまとまっていたと思います。各自のターゲットバッジ修得に繋がられる内容になっていました。

ベンチャー(VS)隊



2/5 定例のプロジェクト会議が行われ、Tさんが参加しました。春の活動について計画を立てました。また、月末に予定されている東京マラソンについての情報を聞きました。

2/22 「東京マラソン 2014」への警備奉仕が要請され、OくんとTさんが参加しました。寒い中、朝から沿道警備ボランティアとして、奉仕参加した指導者と

一緒にスタート直前の場所でランナーをゲートまで誘導しました。スタート前の奉仕のため、朝早い集合となりましたが、雨の降る寒い中、大会運営を支援しました。



ローバー(RS)隊

ビーバー隊副長補でもあるNさんが昨夏に参加した日本連盟主催のアイランド英語研修・キャンプスタッフ派遣の報告書が完成し、日本連盟

のサイトで公開されています。以下のサイトURLで閲覧することができます。

http://www.scout.or.jp/event/past/h26_sis.html



2月のスカウト進歩情報

BVS :	Y. T. くん	小枝章 6
	K. M. さん	小枝章 6
	H. O. さん	小枝章 5
	T. Y. くん	小枝章 5
	H. M. くん	小枝章 5
	R. U. くん	小枝章 2
	H. A. さん	小枝章 2
	H. O. くん	小枝章 1
BS :	Y. F. くん	ターゲットバッジ 「B-P」
	Y. S. くん	ターゲットバッジ 「B-P」
	N. T. さん	ターゲットバッジ 「B-P」
	K. U. くん	ターゲットバッジ 「B-P」
	R. K. くん	ターゲットバッジ 「B-P」
	H. F. さん	ターゲットバッジ 「B-P」



ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

2/22 VSスカウトが、東京マラソンの奉仕を行いました。東京マラソンではさまざまな役割のボランティアが活躍しますが、仕事内容に寄って支給されるジャンパーとキャップの色やデザインが違います。今回、奉仕スカウトと指導者が着用したジャンパーは紺色。なんかカッコイイ？これなら今後もキャンプの防寒着などに使えるかもしれませんね。



リーダーの活動

- 2/1 団会議
- 2/11 登録審査
- 2/11 地区新春の集い
- 2/15 WB 課題事前研究会
- 2/15 WB 課題事前研究会 奉仕
- 2/20 23WSJ 派遣隊指導者会議
- 2/21 地区団委員長面談
- 2/21 地区名誉会議
- 2/22 東京マラソン奉仕
- 2/23 地区ミツヨリ会議
- 2/23 地区野営行事委員会
- 2/26 地区委員会
- 2/26 WB 研修所所員会議

* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

スカウト豆知識

「スカウト活動のシンボル：制服」

スカウト活動には、さまざまなシンボルが用いられています。他の青少年活動とは違う独特のもので、いくつかのシンボルの中から特徴的な制服について紹介しましょう。

日本だけでなく、世界中のスカウトが制服を着ていますが、その歴史をたどると創始者ベーデン＝パウエル卿が軍務についていたときに描いておいた「野外で活動するとき、最も便利だと思われる衣服のスケッチ」から、スカウティングのあらゆる場面にふさわしく、健康的で、快適で、経済性を目指しているものとして多くの国々で適用できる服として案出されたものがベースとなっています。現在、世界中のスカウトの制服には、数多くのデザインや色が使われていますが、根幹をなしていることは次の通りです。

「スカウトであるというあかし」「世界のスカウトがそれぞれの環境や特性を生かしながら、同じ「ちかい」をたて「おきて」を守る兄弟として、仲間意識を体感して、強固にするため」「野外を主とした活動において、活発に活動できるようにするため」「制服を清潔に正しく着用すること、すなわち記章・標章を正しい位置につけ、身だしなみのよさや自尊心を養うこと」「社会のスカウト運動に対する信頼を、制服を着用することで高めるため」。このように「友情」「自信」「信頼」の象徴となる制服に多いに誇りを持ち、正しく着用することを心がけて欲しいと思います。

また、リーダーは「スカウトは制服を着ているときだけがスカウトではない」といわれるように、制服を着ている時と同じ気持ちが身に付き、スカウトらしい行動をいつもとれるようになって欲しい、という願いを持って指導に励んでいます。

この制服がこの度変更され、新しい制服が発表されました。日本連盟のホームページでも紹介されていますから、ご覧になった方もいらっしゃると思います。多少の変化の部門からぐっとイメージチェンジの制服まで、隊ごとに制服が変わります。新制服への切り替えまでは3年間の猶予期間があり、現在着用している制服は上進の時期まで着続けることができるようになっていきます。